

2024 年度近畿アグリハイテク公開セミナー



健康な土をつくる ～ミミズが教えてくれること～

金子 信博 氏
(横浜国立大学・福島大学名誉教授)



過去 40 年間で、世界の耕作地の 3 分の 1、約 4 億 3000 万ヘクタールが失われた、という事実を受けて、国連食糧農業機関（FAO）は、劣化した土地を再生しながら、こうした損失を防ぐことができる「保全農業」の推進を積極的に進めています。保全農業が保全するのは、土壌であり、土壌の生き物です。ミミズや微生物をはじめとする土壌生物が果たしている、各種の生態系サービスを維持することが、「土壌の健全性」に注目する「保全農業」の目的といえます。では、土壌の健全性＝健康な土壌とは、どんなものなのでしょうか？

長年、土壌生態学者としてミミズなどの土壌動物の働き、とりわけ土壌微生物や植物との相互関係を研究してこられ、福島大学では日本の大学院で初めて農業生態学（アグロエコロジー）の履修プログラムを開設されるとともに、実際に環境再生型農業の研究を推進してこられた金子信博さんをお招きして、健康な土壌の特徴、どうすれば健康であるとわかるのか、自分の地域でも健康な土づくりができるのか、といった様々な点について勉強していきたいと思えます。

開催日時等

日 時：2025 年 2 月 21 日（金）14：00～16：00

場 所：キャンパスプラザ京都 4 階第 3 講義室

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939

参加費：無料（どなたでも参加できます）

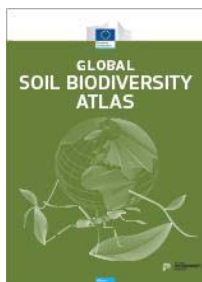
定員 100 名（リモートでも参加できます（事前申込必要））

主 催：NPO 法人近畿アグリハイテク

※本セミナーは、農林水産省の委託事業「『知』の集積による産学連携支援事業」の一環として実施するものです。



【講師のプロフィール】 京都大学農学博士。島根大学生物資源科学部助教授、横浜国立大学環境情報研究院教授を経て福島大学食農学類教授。横浜国立大学・福島大学名誉教授。主要な著書に、「土壌生態学入門」（2007）、「土壌生態学（編著）」（2018）、「ミミズの農業改革」（2023）。2015 年国際土壌年を記念して国連が、世界で初めて地球規模で土壌生物の多様性とその働き、危機の状況をまとめた『Global Soil Biodiversity Atlas（グローバル土壌生物多様性地図帳）』の編集委員としてとりまとめに協力。



福島大学の教員紹介欄には次のような文を寄せられています（一部紹介）。

“土の健康を維持するためには、私たちが常識だと思ってきたことを見直す必要があります。たとえば、土を耕すことや雑草を除去することは、土の健康を損ないます。日本で実践されている「不耕起・草生栽培」は、土壌の生物多様性を保全し、土壌の機能を高めるためには理想的な方法であり、各地に試験地を作って土壌の機能だけでなく、農法の改善も行っています。”

問合せ・申込先



特定非営利活動法人

近畿アグリハイテク

NPO 法人近畿アグリハイテク

〒 606-0805 京都市左京区下鴨森本町 15 (一財) 生産開発科学研究所内

TEL / FAX : 075-711-1248 e-mail : office@kinkiagri.or.jp

申し込み方法

セミナー参加をご希望の方は、**お名前・ご連絡先**（メールアドレス、電話・FAX 番号）、**所属（団体名）または住所**（市町村名までで結構です）をご記入の上、
上記アドレス宛メールでお申し込みください。
（FAX でお申し込みの方は、下記の書式をご利用ください）。

**リモート参加をご希望の方は、後日、アクセスポイントをお知らせいたしますので、
メールアドレスを忘れずご記入ください。**

ふりがな お名前	ご連絡先（メールアドレス） （または、TEL / FAX）	所属（団体名）または 住所（市町村名までで結構です）

※お申し込みに係る個人情報につきましては、本セミナー以外では使用いたしません。